

市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見

通学橋

医学界に大きな業績を残した北里柴三郎博士が別荘を建てたのは大正三年。当時近くの西小学校に通うには粗末な橋しかありませんでした。博士は私財を投じてコンクリートの橋をかけ、その橋が大水で流されると再度私財を投じました。その橋を通学橋と言います。

伊東かるた解説書より

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 3月定例会の概要……………【P. 2】
- 予算大綱質疑（6議員が質疑）…【P. 4】
- 一般質問（13議員が登壇）……………【P. 7】
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会……………【P. 11】
- 常任委員会だより……………【P. 12】



令和5年3月定例会

令和5年度一般会計予算を全会一致で可決
特別会計6件、企業会計3件についても可決

3月定例会を2月20日から3月22日までの31日間の会期で開会しました

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第8号	市の義務に属する損害賠償の額の決定に係る専決処分の報告について	令和4年12月14日の強風により、伊東市立北中学校付近の市所有地内から枝が落下し、駐車していた車を損壊させたことによるもので、令和5年1月24日に専決処分を行ったことの報告	市長	(質疑・報告のみ)
市報第9号	市の義務に属する損害賠償の額の決定に係る専決処分の報告について	令和4年12月14日の強風により、伊東市宮かどの球場敷地内雑木林内の腐食していた立木が倒れ、隣接地の浄化槽のマンホール蓋及び蓋枠を損壊させたことによるもので、令和5年1月26日に専決処分を行ったことの報告	市長	(質疑・報告のみ)
市議第35号	伊東市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	令和5年度中に生活保護の医療扶助のオンラインによる資格確認が開始されることに伴い、生活保護法の対象外である外国人の保護世帯の個人情報を取り扱うことができるようにするとともに、マイナンバーカード取得者の利便性向上のため、一部の事務処理について個人情報を取扱いできるようにするための改正	市長	賛成多数で可決
市議第36号 👍 討論	伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例	伊東市特別職報酬等審議会の答申を受けて行う、議員報酬の額を引き上げる条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第37号	伊東市職員等退職手当支給条例の一部を改正する条例	国家公務員退職手当法の運用方針等の改正による、非常勤職員の退職手当支給対象要件の緩和を受け、国家公務員との均衡を図るための改正	市長	全会一致で可決
市議第38号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例	早期退職者の退職手当の割増率について、国家公務員においては退職日時点の年齢と60歳との年の差、1年につき退職手当基本額を3%割増すこととしているが、本市では早期退職日時点での年齢が59歳であった場合については割増率を2%としていることから、国家公務員との均衡を図るため割増率を3%とする条例改正	市長	全会一致で可決
市議第39号	伊東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律、その他関係法令の施行に伴う引用条項の整理のほか、民法の懲戒権が削除されたことから、条例の懲戒権に係る規定の削除を行う改正	市長	全会一致で可決
市議第40号	伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令その他関係法令の施行に伴い、施設に係る安全計画の策定等の義務化、バス送迎に当たっての安全管理の徹底に係る規定の整備など、保育事業者に対し必要な措置を講じるための改正	市長	全会一致で可決
市議第41号	伊東市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、事業者に対し必要な措置を講じるための改正	市長	全会一致で可決
市議第42号	伊東市国民健康保険条例の一部を改正する条例	厚生労働省が設置する社会保障審議会医療保険部会において、出産育児一時金の支給額を令和5年4月から全国一律で引き上げるべきとされたことに伴い、本市においても出産育児一時金の支給額を引き上げるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第43号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、被保険者間の負担の公平化及び低・中所得者の負担軽減のため、賦課限度額が改められたことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第44号	伊東市下水道条例及び伊東市地域污水处理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	人口減少、節水機器の普及及び新型コロナウイルス感染症の蔓延による有収水量の減少や燃料費などの物価高騰による維持管理費の増加などにより現行の料金体系による下水道事業の経営維持が厳しいことから、水道等汚水の基本料金を約3割上げる料金改定	市長	撤回
	市議第44号の撤回について	上記改定案に関し、市内経済状況の近況を踏まえ改定の時期を見直したい旨の当局の申出を受け、撤回を承認するもの		全会一致で承認
市議第45号	伊東市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	市営住宅で耐用年数を経過し、老朽化が著しく政策空家として管理しているものについて、市営住宅としての用途を廃止するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第46号	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	静岡地方税滞納整理機構の事務所が入居している建物の建て替えに伴い、静岡地方税滞納整理機構規約における事務所の位置に係る規定を変更することについて、当該広域連合を組織する地方公共団体と協議し、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第47号	令和4年度伊東市一般会計補正予算(第8号)	新図書館建設等大規模建設事業などにおける地方債借入により増加が見込まれる公債費に備えるための減債基金積立金の増額、国の繰越し予算の追加配当及び補正予算の成立に伴い、市内各小・中学校の感染拡大防止対策費の追加を主な内容として、5億2,365万9,000円の増額	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第48号	令和4年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第2号)	車券の売上げが好調に推移し、見込みを上回ることから、歳入において車券売上金を増額し、歳出において車券売上金の増額に見合う勝者投票払戻金や、競輪施設改善基金への積立金を追加し、88億6,200万円の増額	市長	全会一致で可決
市議第49号	令和4年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	国民健康保険事業基金への積立金の増額を主な内容として445万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第50号	令和4年度伊東市霊園事業特別会計補正予算(第1号)	霊園建設事業における合葬式墓地の建設事業費確定に伴う減額を主な内容として410万4,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第51号	令和4年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	広域連合に対する保険料の負担金の確定に伴う減額を主な内容として5,428万円の減額	市長	全会一致で可決
市議第52号	令和4年度伊東市下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収支については、令和3年度決算に伴う長期前受金戻入などの増額及び借入利率の確定による企業債利息の減額、資本的収支については、国庫補助事業不採択などによる企業債、国庫補助金及び工事請負費の減額を主な内容とするもの	市長	全会一致で可決
市議第53号	令和4年度伊東市水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収支については、不要メーターの売却に伴う不用品売却収益の増額及び社会情勢による動力費の増額、資本的収支については、開発負担金の増額及び計画の見直しによる委託料及び工事請負費の減額を主な内容とするもの	市長	全会一致で可決
市議第54号 市議第63号	令和5年度伊東市一般会計予算、特別会計予算6件、企業会計予算3件	各会計の概要は4ページをご参照ください。	市長	4ページをご覧ください。
市議第64号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例を廃止する条例	新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金における国の財政支援が終了することに合わせ、支給対象適用開始日が5月7日までの場合は廃止前の条例を適用する旨の経過措置を定め、伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例を廃止する	市長	賛成多数で可決
市選第3号	副市長選任の同意について	中村一人氏(再任)	市長	全会一致で選任に同意
市選第4号	副市長選任の同意について	岸 弘美氏(新任)	市長	全会一致で選任に同意
市諮第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	上原直枝氏(新任)	市長	全会一致で推薦に同意
発議第4号	保育士の配置基準の抜本的な見直しを求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策)、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名*	全会一致で可決

※各会派代表者及び会派に所属していない議員

本会議で行われた討論の概要

※登壇順に掲載しています。

市議第三六号

《反対》日本共産党

報酬等審議会は議員報酬の引上げを答申したが、同時に市民に理解される改定期間への配慮を求めている。電気料金をはじめ尋常でない物価高が続く中、当局は下水道料金の値上げ案市議第四四号を上程後に取り下げるという異例の決定をした。以上のような状況での報酬の引上げは適切ではないと考え、反対とする。

《賛成》清和会

本条例改正の趣旨は、平成一八年の引下げ改定以降、政務活動費もなく、類似団体平均より長年低く抑えられてきた議員報酬を引き上げるといふより、平成一八年以前の水準に戻すということにその本質があることから、特別職報酬等審議会の答申を尊重し、議員はその重責を果たすことで市民の負託に応えるべきである。

会派構成は6ページをご覧ください

《反対》無党派 颯

議員報酬の引上げは、コロナ禍での市内経済の疲弊や燃料高騰に伴う物価高騰により、市民生活が大きな打撃を受ける中、市民感情として理解され難いものであり、議員報酬とは、活動全般が民意に応えた対価として、支給されるものであるため、市民の理解なくして引上げ改定はあり得ない。よって本条例に反対する。

市議第六四号

《反対》日本共産党

国保における傷病手当金は、コロナ感染症に際し、初めて制度化された画期的なものである。二類から五類への改正は経済など、様々な活動を取り戻すためにはやむを得ない措置だが、ウイルスの性質や後遺症の心配は変わらず、完全な終息という科学的な根拠もないことから、制度廃止は時期尚早と考え、反対する。

本会議で行われた討論の概要
※登壇順に掲載しています。

市議第五四号
令和五年度伊東市一般会計予算

《賛成》正風クラブ

対前年度比で四・二％増の二八三億円、過去二十年では最大の予算規模となったが、消費喚起、地域経済の活性化に期待するキャッシュレス決済ポイント還元事業をはじめ、子育て支援事業、災害対策事業、移住定住政策、図書館建設等、行うべき事は積極的に行う予算となっていることを高く評価して賛成する。

《賛成》日本共産党

三校統合は大事業であるが登下校の安全や学童保育の運営などに努力がうかがえる。新図書館建設や移住促進、伊東駅周辺の整備事業など重要施策も多いが、十分な職員配置と市民参画での実施を要望する。また給食費無償の打切りをはじめ、当面の物価高対策は不十分と考え、補正予算等で

の対策を求めつつ賛成する。

《賛成》公明党

近年にない大枠の一般会計予算額二八三億に対し、自主財源が充分確保できない中、国の交付金、競輪事業売上げ金一部繰入れ、ふるさと納税を活用し、市民の文化の拠点となる新図書館建設事業等が実施される。その中であって物価高騰に苦しむ市民生活に直結した施策を随時行うよう要望し、賛成する。

《賛成》無党派 颯

令和五年度予算は引き続き厳しい経済状況下での当初予算案となったが、市民生活を下支えする政策が十分と言えないこと、小学校統廃合により開始されるスクールバス運行の方法や費用については検討が足りなかったことなど課題も残ったことから、今後さらなる事業内容の整合性を図る必要を指摘して賛成とする。



予算大綱質疑

6会派が質疑しました

～市長施政方針及び各会計予算案について～

(文面の掲載量は各会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は6ページをご覧ください。)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。



動画はこちら

令和5年度 市長経営方針

新しい伊東スタイルへの挑戦 ～躍動するまちへ～

持続可能かつ柔軟な市政運営に努め、
国際観光温泉文化都市としての発展と、
安全・安心な市民生活を両立させていくための
各種施策に取り組んでいく

主な新規事業

- 移住者住宅資金貸付金利子補給事業
- 情報システム標準化・共通化事業
- 航空写真撮影業務委託
- 対島出張所マイナンバーカード発行事業
- 犯罪被害者等支援事業
- 出産・子育て応援事業
- 東海館改修事業
- キャッシュレス決済ポイント還元事業
- 伊東小学校スクールバス運行事業
- 市立幼稚園デリバリー給食実施事業
- 大原武道場エレベーター更新事業
- 特定健診実施計画等策定業務委託料
- 下水道総合地震対策計画策定事業

ほか

令和5年度 各会計予算

◎全会一致で可決

区分		当初予算額	前年度対比	審議結果
会計別				
一般会計		283億円	104.2%	◎
特別会計	競輪事業	283億円5,000万円	119.1%	◎
	国民健康保険事業	86億8,900万円	98.9%	◎
	土地取得	2,590万円	45.4%	◎
	霊園事業	2,545万円	46.2%	◎
	介護保険事業	91億4,600万円	103.5%	◎
	後期高齢者医療	23億5,100万円	100.4%	◎
病院事業会計		5億5,828万円	101.3%	◎
下水道事業会計		30億7,636万円	101.0%	◎
水道事業会計		26億1,753万円	95.9%	◎
合 計		831億3,952万円	107.5%	—

※病院事業会計、下水道事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額



正風クラブ
すずきあやこ
(鈴木絢子議員)

令和5年度以降の市債の借入額及びその償還見込みを伺う

市長
令和五年度の市債は前年度から減少して、一二億四五九〇万円となった

令和五年度の市債については、新図書館建設事業において本工事に着手するため教育債が前年度から増加し約四億円となるものの、国の地方財政対策から臨時財政対策債が一億九〇〇〇万円に減少したことなどにより、市債全体では前年度と比較して減少して、一二億四五九〇万円となった。今後の市債の借入れについては、道路改良事業等の通常の建設事業債や臨時財政対策債などにより、毎年約一八億円を想定している

が、令和六年度は新図書館建設事業を予定しているため、約三三億円の見込みとしている。

また、償還の見込みについては、新図書館建設事業に係る市債の償還が本格化する令和九年度以降から増加し、令和一二年度の約二八億円をピークに減少していくと考えている。

新図書館建設事業の財源内訳について伺う

市長
約一五億円の国の補助金を活用するほか、地方債及び基金等を充当する予定である

新図書館建設工事費としては、本体工事及び家具設置工事などの二か年度事業により、約三七億円を見込んでいます。歳出計画は工事進度に合わせて、令和五年度に五億円、令和六年度に債務負担行為限度額の三二億円を想定している。現段階での財源内訳は、

国土交通省の都市構造再編集支援事業費補助金を令和五年度に約二億円、令和六年度に約一三億円を見込むほか、地方債及び文化施設整備基金等を充当する予定である。

なお、運営費は後年度での審議となるが、現段階では、人件費、施設維持管理費及び光熱水費など全て見込むと、年間で約二億六〇〇〇万円になると試算している。

『その他の質疑』二六項目



公明党
とりのやすこ
(鳥居康子議員)

一般会計の予算規模が二八三億円という過去三番目の大きさとなった要因を伺う

市長
「未来を拓く取組」をより一層進展させることとし、各種施策を盛り込んだ

令和五年度については、コロナ禍の影響が緩和されつつある一方、急激な物価高騰により、市内経済がいまだ厳しい状況にある中で、経営方針である「新しい伊東スタイルへの挑戦」躍動するまちへ」に基づく各種施策の展開を図っていくこととした。

具体的には、誕生祝金・入学祝金の継続や国の新たな取組による出産・子育て応援給付金事業の開始など、子育て支援の充実をはじめ、増加傾向にある観光客の受け入れに向けた城ヶ崎海岸等の観光施設の整備、ふるさと納税や移住定住に係る取組の拡充、キャッシュレス決済ポイント還元事業などの市内経済の下支えのための取組を進めるほか、新図書館の本体工事に着手するなど、「未来を拓く取組」をより一層進展させることとした結果、対前年度一一億五〇〇〇万円、四・二％増の二八三億円の予算規模となった。

『その他の質疑』五項目



清和会
すげもとかずや
(杉本憲也議員)

下水処理施設で処理される年間総処理水量が、下水道使用料の対象となる年間見込有収水量の約二倍の理由、また、この差に関する原因追及及び改善に係る費用が予算計上されているか伺う

市長
管渠内調査及び修繕をするための予算を計上している年間総処理水量の内訳については、その約五割を有収水量、約二割を雨水処理水量、残りの約三割を不排水として推計している。

不明水の原因は、管渠の破損による地下水等の侵入、分流域内の雨水排水の誤接続、温泉等汚水の認定水量の誤差及び無断接続等であると考える。温泉等は正確な排水量の計測が可能な機器の設置を推奨しているが、機器の設置が困難な場

合は、申請に基づく調査を行い、平均的な使用形態の排水量を認定しているが、今後はより正確な排水量の認定方法を調査研究し対応していきたいと考えている。

不明水の対策としては、管渠の清掃調査及び更生工事の際に管渠の状況の確認と併せて管口調査を実施する中で、異常水量が排水されている場合の管渠内調査及び修繕をするための予算を計上している。

『その他の質疑』一二項目



自民・維新の会
すざもとかずひこ
(杉本一彦議員)

新たに開校する伊東小学校のスクールバス運行に係る事業費の妥当性を伺う

市長

安全な通学をかなえるため、バス事業者との協議等を踏まえ、六一五〇万円の委託料を計上した

令和五年度予算において、伊東小学校スクールバス運行管理業務委託料として六一五〇万円を計上した。

スクールバスの乗車児童数は二五〇人を超える予定であり、安全な通学のため、登校時は四台、下校時は最大七台の必要台数を見込んでいます。費用の積算としては、これまでの社会科学見学等における貸切バスの費用や民間バス事業者との協議等を踏まえ、キロ制運賃及び時間制運賃の単価を国土交通省が示す算定基準の下限値とし、その単価に年間走行距離数、運行時間数及び必要台数をそれぞれ乗ずることで運行に必要な費用を積算した。

本事業は、本市における初めてのスクールバスの導入であり、児童が安全に通学し、安心して学校生活を送ることができるよう、いくつかの方法を検討する中で、民間事業者への委託を決定したものである。

『その他の質疑』一四項目



無党派 颯
たぐほまき
(田久保真紀議員)

市内経済や市民生活は物価高騰の影響等で厳しい状況にあることに鑑み、令和五年度実施予定の事業を伺う

市長

必要な施策については迅速に対応する

市内経済や市民生活の下支えになるキャッシュレス決済ポイント還元事業、子育て支援を充実させる出産・子育て応援給付金事業、戻りつつある観光客を迎えるための城ヶ崎海岸の遊歩道整備、厳しい状況下でも未来に向け前進するため駅前広場詳細設計の実施や新図書館建設事業の本体工事への着手など、市街地のにぎわい創出を目指すほか、必要な施策については迅速に対応する。

『その他の質疑』一項目



日本共産党
しげおかひでこ
(重岡秀子議員)

伊東小学校及び大池小学校の放課後児童クラブの運営を業務委託する意図を伺う

市長

運営している保護者への負担が大きいという課題があり、民間事業者へ委託することとした

放課後児童クラブの運営については、支援員の雇用や給与事務、福利厚生等を含む運営全般を、クラブを利用している保護者の代表で構成された保護者会が担っており、保護者の負担が大きいことが課題であった。そのため、東、西、旭及び大池小の保護者会との協議を踏まえ、伊東小学校及び大池小学校のクラブ運営を福祉事業に精通する民間事業者に委託することとした。

『その他の質疑』五項目

市議会内の会派構成

(令和五年四月一日現在)

■正風クラブ

仲田 佳正 議員

鈴木 絢子 議員

宮崎 雅薫 議員

◎青木 敬博 議員

佐藤 周 議員

■公明党

鳥居 康子 議員

篠原 峰子 議員

◎長沢 正 議員

■清和会

四宮 和彦 議員

杉本 憲也 議員

◎井戸 清司 議員

■自民・維新の会

大川 勝弘 議員

中島 弘道 議員

◎杉本 一彦 議員

■日本共産党

佐藤 龍彦 議員

◎重岡 秀子 議員

■無党派 颯

田久保真紀 議員

◎浅田 良弘 議員

■会派に所属していない

石島 茂雄 議員

(◎) 会派代表者、

会派構成議員は議席順)

※ 4月1日以降の会派構成の変更については、11ページをご覧ください。



一 般 質 問



動画はこちら

13議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。

市長

令和三年度末までに八地区の調査が完了し、今後も順次実施していく予定である

本市において、森林経営管理制度に基づいて令和元年度から市内森林所有者に対し、森林の経営管理委託に関する意向調査を実施しているが、その調査の完了範囲を伺う。

森林は木材の生産だけでなく、水源地の涵養、山地災害防止、生物多様性の保全機能など、多くの公益的機能を備えていることから、守っていく必要があるが、間伐等の手入れや相続登記がされていない現実がある。

森林経営管理制度に基づく森林の経営管理委託に関する意向調査について伺う



さとうしゅう 佐藤周議員
(正風クラブ)

森林の経営管理委託に関する意向調査については、令和元年度から令和三年度末までに、松原、岡、鎌田、玖須美、元和田、荻、十足、池及び八幡野の八地区が完了した。

令和四年度においては、吉田及び富戸を調査しているところであり、五年度以降に、宇佐美、湯川、新井、川奈及び赤沢を実施していく予定である。

『その他の質問』一〇項目

伊豆縦貫自動車道路の建設発生土を本市の海岸線の埋立てに使用する計画があるとの話を耳にしたが、事実か伺う

熱海伊豆山土石流災害を契機に盛土等の規制が全国的に強化、厳格化され、本市においても盛土等規制に



しのみやかずひこ 四宮和彦議員
(清和会)

市長

係る改正条例が施行された結果、現在、建設発生土の行き場がなくなっていると聞く。

そのような中、伊豆縦貫自動車道建設において発生する大量の建設発生土を本市の海岸線の埋立てに使用する計画があるとの話を耳にしたが、事実か伺う。

建設発生土を受け入れて海岸を埋め立てる計画はない

伊豆縦貫自動車道路の未着手区間の一部は都市計画決定がされ、ルートが正式に決定したことで、事業化に向け大きく前進していることは承知しているところであるが、同道路建設工事において発生する建設発生土の海岸埋立てによる処理については、国等からの受入れに関する打診や要請等も現段階ではなく、また、本市においてそのような計画もない状況である。

『その他の質問』七項目



なかしまひろみち 中島弘道議員
(自民・維新の会)

市の補助金を活用して設置された防犯カメラの台数を伺う

空き巣被害や悪質セールス等が頻発している昨今、地域ぐるみの防犯対策が求められている。防犯対策の有効な手段として防犯カメラの設置が挙げられ、本市においては令和三年九月より「伊東市街頭防犯カメラ設置事業費補助金」の制度を設けたが、補助金を活用して設置された防犯カメラの設置数を伺う。

市長

合計二二〇台が設置される見込みである

本市では、地域の自主的な防犯活動を促進し、犯罪等に強いまちづくりの推進に向けた地域の自主的な取組を支援するため、行政区

や分譲地等自治会に対し、防犯カメラ設置に係る補助金を交付している。

本制度を活用した防犯カメラの設置数は、令和三年度は、一〇行政区が四五台、六分譲地等自治会が二二台設置、令和四年度は、八行政区が二八台、四分譲地等自治会が二五台設置する見込みであり、制度開始から令和四年度末までに、合計一二〇台設置される見込みである。

『その他の質問』一四項目



あおき よしひろ
青木敬博議員
(正風クラブ)

ふるさと納税による寄附額の増加に向けた取組をしてはかがか

本市のふるさと納税による寄附金額は伸びる余地があると考えており、ふるさと納税の広告を打っている市町で寄附金額が高い傾向

があることから、広告を打つなど寄附額の増加に向けた取組をしてはかがか。

市長

ふるさと納税の増加に向けた取組を進めたいと考える

ふるさと納税に係る広告の取扱いには、総務省が定めた基準により、返礼品等を強調した寄附者を誘引するための宣伝広告は禁止されており、本市では基準等が定められた以降、広告の掲載を差し控えてきた。

現在は、寄附者が利用するポイントサービスと連携したポータルサイトからの寄附が多いため、広告を打つことは費用対効果を見極める必要があると考える。

しかし、ふるさと納税に力を入れることで地域産業の活性化等の効果がみられることから、返礼品の魅力向上やポータルサイトの増設等により、ふるさと納税の増加に向けた取組を進めたいと考える。

『その他の質問』二項目



しのはら みずこ
篠原峰子議員
(公明党)

ファミリー・サポート・センターの会員人数、利用状況及び課題について伺う

ファミリー・サポート・センター事業は、子育てを援助してほしい「依頼会員」と子育てを援助したい「支援会員」との橋渡しを

センターが行い、保育施設などへの送迎や一時的な預かりなど、様々な育児の手助けを有償で行うものであり、うまく利用することで子育ての負担軽減につながる良い制度であることから、本制度の会員人数、近年の利用状況及び課題を伺う。

市長

三七八人の会員登録があり、令和四年度は四〇〇件程度の利用が見込まれている

令和五年一月末現在の会員数は、依頼会員二八四人、

支援会員八三人、両方会員一人の合計三七八人である。利用状況については、令和三年度は四二四件、令和四年度も四〇〇件程度となる見込みである。

課題としては、依頼会員に比べ支援会員が少ないこと、また、支援内容には習い事等への送迎などもあるが、高齢のため運転を控える支援員がいるなど、支援員の高齢化が挙げられる。

『その他の質問』八項目



さとう たつひこ
佐藤龍彦議員
(日本共産党)

適応指導教室に通う児童・生徒の延べ人数及び学習などの活動状況について伺う

全国の小・中学校で不登校の児童・生徒が増加している中で、適応指導教室は学習の機会を保障する重要な取組と考えることから、本市における適応指導教室

に通う児童・生徒の延べ人数及び学習を含めた活動状況について伺う。

教育長

自習学習を進める中で、相談員や補助員が適宜支援等を行い、自立及び学校復帰を目指している

令和五年一月現在で適応指導教室に登録している人数は三五人で、延べ一四〇二人となっており、一日平均では七人程度の児童・生徒が通っている。

活動については、基本的に個人のペースや計画に合わせて自習学習を進める中で、相談員や補助員が適宜支援等を行うほか、座学だけでなく、週に一回程度、小学校の体育館での運動や定期的に陶芸や生け花、英語教室やパソコン教室などの講座を実施することにより、自立及び学校復帰を目指している。

『その他の質問』二項目



すぎもとかずや
杉本憲也議員
(清和会)

亀石峠のトンネル化について伺う

災害時に被災しにくいアクセス道路の重要性や医療連携体制の強化、さらには交流人口増加に向けた利便性向上の観点から、亀石峠にバイパスとなるトンネルを掘削しアクセスを向上させることが、本市の将来にとって有益であると考え、ことから、同取組における本市への要望や国県への陳情状況を伺うとともに、市長の見解を伺う。

市長
観光産業の振興や利便性向上等に寄与するものと考えている

亀石峠のトンネル化については、避難路、緊急輸送路、救急医療の搬送路及び冬季の積雪、凍結対策に有

効であるとの要望が過去に寄せられ、県に対し要望活動を行った経過がある。

本市における観光産業の振興や利便性向上等にも寄与するものであり、有益性、必要性は高いものと認識しており、今後については、「伊東アクセス道路促進同盟会」の加盟団体と連携し、実現性についての協議や情報収集、要望活動などについて検討していく。

『その他の質問』 九項目



すぎもとかずひこ
杉本一彦議員
(自民・維新の会)

第九期介護保険事業計画を策定する上で、介護医療院の設置は不可欠であると考えているが、市長の考えを伺う

高齢化が進む中、市内で慢性期の医療を必要とする方を受け入れる療養病床がないことは深刻な問題であり、第九期介護保険事業計

画を策定する上で介護医療院の設置は不可欠と考えるが、市長の考えを伺う。

市長
必要性と実現性の両側面から慎重に検討していく

本市では高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるようにするため、地域包括ケアシステムの構築を進めている。現状では団塊の世代が後期高齢者に近づくにつれて、要介護高齢者が増えており、医療系の居宅サービスの需要が高まっている。

このことから、次期介護保険事業計画の策定に向け介護サービスの見込量を推計する中で、介護医療院の整備についても、整備可能な事業者の把握に努めるほか、仮に稼働した場合の介護保険料の負担増なども考慮して、必要性と実現性の両側面から慎重に検討していきたい。

『その他の質問』 五項目



ながさわまさし
長沢正議員
(公明党)

グリーンライフ・ポイント制度の導入は環境配慮への機運を高めることにつながると考えるが見解を伺う

グリーンライフ・ポイント制度は、買い物時等に環境配慮行動を実践した際に、既存サービスの範囲内でポイントが上乘せされる仕組みであり、目に見える形で特典を受けられることで、一人一人が環境問題を自分ごとと捉えることができ、本制度を導入することで、環境に配慮したライフスタイルへの転換を進めることに有意義であると考えているが、見解を伺う。

市長
県内で運用されている温暖化対策アプリ「クルポ」の周知に努めていく

静岡県においては、温暖

化対策アプリ「クルポ」が運用されており、環境配慮行動によりポイントが獲得でき、県内企業の商品券や、図書カードなどが当たる抽選に参加できるインセンティブが付与されている。

今後については、「クルポ」の周知に努めるとともに、様々な機会において環境配慮行動の普及啓発活動を実施し、環境に配慮したライフスタイルへの転換の機運を高めていく。

『その他の質問』 八項目



あさだ よしひろ
浅田良弘議員
(無党派 翼)

少子化対策や子育て世帯へのさらなる支援を伺う

本市における出生数は減少傾向であり、少子化対策は喫緊の課題であることから、出産前から利用しやすい支援制度の充実が必要であると考えているが、少子化へ

の見解や対策を伺うほか、子育て世帯へさらなる支援をするための考えを伺う。

市長

出産・子育て応援事業においてさらなる経済的支援を実施する

本市の少子化対策は、令和二年度に誕生祝金の増額及び子どもの医療費を完全無償化しており、令和五年度から入学祝金事業を実施するなど、子育て世帯に対する経済的な支援を充実させている。

今後、さらなる支援として、妊娠時と出産時に五万円ずつ支給する出産・子育て応援事業を実施するほか、保育料の無償化の拡充等についても財政的な負担を考慮しつつ検討する。

また、少子化は本市のみでなく、全国的な喫緊の課題であることから、国においても様々な施策が講じられると考えているため、動向を注視していく。

『その他の質問』 二項目



しげおかひでこ
重岡秀子議員
(日本共産党)

新図書館の運営方法に関し市民の意見を聴取する場の計画はあるか

新図書館の構想には様々な市民の声が反映されてきたと考えるが、新図書館建設に関心の高い市民の中から、運営方法については、自分たちの知らないうちに決定されてしまうのではないかと懸念する声が挙げられている。

多くの市民に利用してもらえるような図書館にするには、市民参画が重要な鍵と考えることから、今後、開館までの間に、運営方法に関する市民の意見を聴取する場の計画はあるか伺う。

教育長

意見聴取の場を設けることについて検討していく

新図書館建設工事執行に

向けた調整のほか、新図書館の運営に係る検討を進めている現段階において、新たにワークショップ等を実施する具体的な計画はないが、意見や知恵を出し合い

「市民に開かれた新しい図書館」をつくり上げる必要性は深く認識していることから、市民の皆様のご意見を伺う場を設けることができるよう検討を進めていく。

『その他の質問』 五項目



ただくま
田久保真紀議員
(無党派 颯)

(仮称) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業者から申請された、宅地造成等規制法に基づく二回目の変更許可の概要及び許可したことを市民に公表しなかった理由を伺う

(仮称) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業者が宅地造成規制法に

基づく許可申請をした際、当初の許可及び一回目の変更許可については、報道等により公表されているが、二回目の変更許可に関しては一切公表されていないことから、変更許可の概要及び市民に公表しなかった理由を伺う。

市長

災害発生の防止や環境負荷の低減を理由に宅地の面積等を縮小する申請があった

令和三年九月六日付で事業者から、災害発生の防止や環境負荷の低減を理由に、宅地の面積、切土・盛土をする土地の面積、切土・盛土の量、調整容量を縮小する申請があり、審査したところ基準を満たしているため許可した。

なお、申請があった事実を公表する制度がないため二回目の変更申請の許可について公表をしなかった。

『その他の質問』 二項目



いしじましげお
石島茂雄議員
(会派に所属していない)

小・中学校の卒業式及び入学式でのマスク着用についての方針を伺う

岸田総理が卒業式におけるマスクの着用を自己判断に任せる旨のコメントをしたが、その後の報道によると、学校ごと対応が異なっている状況があることから、本市における小・中学校の卒業式及び入学式でのマスク着用に係る対応方針を伺う。

教育長

卒業式は式典全体を通してマスクを外して差し支えない

卒業式におけるマスク着用については、文部科学省から、卒業式の教育的意義を考慮し、児童・生徒等はマスクを着用せず出席することを基本とする旨の通知

が発出され、その内容に沿う形で、二月下旬に市教育委員会から保護者宛てに、児童・生徒及び教職員は式典全体を通してマスクを外して差し支えないこと、合唱等を行うときは一定の感染症対策を講じることなどを通知した。

入学式についても、今後文部科学省が示す方針から大きく相違しない対応をしていく。

『その他の質問』 四項目

■四月一四日

会派離脱

四宮 和彦 議員

(新)会派に所属していない
(旧)清和会

会派名変更

(新)清友会
(旧)清和会

※本号に掲載の討論、予算大綱質疑及び一般質問の記事における会派名は、三月定例会時点にて記載しています。

6月定例会の予定

6月14日(水)
開会

※日程等は、6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

閉会中の議会活動

令和4年12月定例会閉会から
令和5年3月定例会開会まで

12月15日 常任福祉文教委員会協議会
12月19日 議会活動活性化協議会
1月23日 常任観光建設委員会協議会
1月27日 議会報編集委員会
2月14日 議会運営委員会



しかしながら、国は今後
も消毒や換気などの基本的
な感染対策は重要としてい
ることから、新型コロナウイルス
イルス感染症の分類が変更
されるまで、同マニュアル
のマスク着用以外の部分に
ついては、これまでと同様
の取扱いとすることとしま
した。

令和五年三月一三日以降
の、マスクの着用について
「個人の主体的な選択を尊
重し、着用は個人の判断に
委ねることを基本とする」
ことが国から示されたこと
からこの方針を踏まえ、マ
スクの着用を義務付けてい
た、伊東市議会新型コロナ
ウイルス等感染症対応マ
ニュアルを改正し、市議会
内におけるマスクの着用は
個人の判断に委ねることと
しました。

令和五年三月一六日

委員会開催

新型コロナウイルス
感染症対策特別委員会
(本委員会ホームページは「ちやい」)



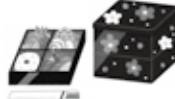
公職選挙法に基づく政治家の三ない運動

政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。
有権者が求めてもいけません。

結婚祝※



地域の運動会・
スポーツ大会への
飲食物等の差入



お祭りへの
寄附・差入



町内会の集会・
旅行等の催物への
寸志・飲食物の差入



みんなで徹底しよう
三ない運動

求めない! 贈らない! 受け
取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

落成式・開店祝等の
花輪



病気見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



香典※



※政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。
総務省HPより (詳しくはhttps://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.htmlをご覧ください)

常任委員会だより

～3月9日、10日に行われた常任委員会審査の中から、一部を抜粋～

ホームページにおいて、
各委員会要点記録を公開しております。各委員会要点記録はこちら



総務委員会

問 令和4年度からスタートしたSDGs推進事業補助金の実績と、その周知方法について伺う。

答 SDGs 17のゴールと169のターゲット達成に寄与する事業に対して補助を行っており、年度途中ではあるが現在までの実績は推進事業25件、普及啓発事業4件である。実績については今後市のホームページへの掲載を始め、周知に努めていく。

問 焼却炉整備事業において、毎年多額の機器補修工事請負費が計上されている理由を伺う。

答 さまざまな設備や機器を備えていることから、毎年度一定規模の補修工事を計画的に行い、施設の長寿命化を目指している。



適正な管理に努めています
(環境美化センター施設内)

観光建設委員会

問 再生可能エネルギー施設建設事業に期待される効果を伺う。

答 鎌田宮川水源ポンプ場に太陽光発電施設を建設する事業であり、年間で100万円程の電気料金削減とともに、ポンプ場からの二酸化炭素排出量も約17.5%削減を見込んでいる。

問 水道事業会計における消耗品費の増額理由を伺う。

答 災害時における応急給水の際に使用する飲料水用ポリ容器の購入にあたり、容量を高齢者でも持ち運べる小さいものに変更して、購入数量を増やすことで備品を充実させるためである。



いざという時のために準備をしましょう

福祉文教委員会

問 はじめよう！ITO新生活応援事業の拡充内容を伺う。

答 これまで、一定数の医療・福祉人材の移住による確保が実現していることから、その後の定住を後押しする施策として、定住継続支援や結婚支援などの新規支援メニューを創設した。

問 伊東小学校への統合に伴う、スクールバスの運行について伺う。

答 統合により、通学距離が長くなる旧西・旭小学区内の児童などへの通学支援策として、乗降場所や運行ルートを決めた中で、スクールバスを運行する。また、各乗降場所への見守り要員の配置など、児童の安全対策も行っていく。



本市で初めて導入されるスクールバス

編集後記

『通学橋』は、来年度から新千円札の顔となる北里柴三郎博士が私財を投じて作ってくださいました。

台風の時、子供達が通学する様子を見て、安全に通えるよう整備してくださいました。そうです。たくさんの子供達がこの橋を通り伊東尋常高等小学校、その後西小学校に通いました。今年四月からは伊東小学校に架かる橋として引き続き安心安全に通わせていただいています。

日常から気付くひとつひとつの想いで、今の生活が作られ、守られている事に感謝いたします。(鈴木)

議会報編集委員会

委員長 佐藤 龍彦
副委員長 杉本 憲也
委員 鈴木 絢子
篠原 峰子
中島 弘道
田久保 眞紀

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ